10．22フォーラムのグループワークまとめ

(1) 雲南市についての感想		(2) 現状と課題		(3) 条例改正にむけての考え方		(4) 条例や仕組みに何を入れるか	
・住民みんなが課題の共有をしている	6	・色々な状況の人が地域活動に自由に参加できる仕組みが必要	12	・行政と住民の信頼関係を深める仕組みづくり	13	・地域交流センター、地域活動市民センター創設	2
・仕組みは行政主導で変わっていく	4	・町内、地域の横のつながりが必要	6	・地域で何でも話せ、誰でも自由に参加できる交流センターが必要	8	・行政職員、市民の研修の場をつくる	2
・実際の状況（現状）はどうなのか？	3	・地域活動に対して無関心すぎる	6	・行政と市民で地域ごとの目標を統一すべき	6	・交流会の開催	1
・地域住民の「やってくれない」から「やらせてくれない」はすごい	3	・地域の中での人間関係のつながりが薄い	5	・行政の縦割りを越えてできる仕組みが必要	6	・第一ステップとして「岡山市民の日」をつくる	1
・行政が地域状況を理解している	3	・地域運営スタッフをどう集めるかが問題	4	・地域活動の拠点の確保し、他団体との多様な連携ができ、事務局機能をサポートし	3	・地域担当職員の職域・権限の拡大	1
・地域住民の「やらせて」を承認する行政がすごい	2	・地域に協議会があり、協働できる環境にある	3	自治組織の意見を伝える仕組み作りが必要		・すべての市民が参画する機会を保障する仕組みづくり	1
・限界集落化した集落では地域づくりは困難	2	・問題解決を持っていくべき場が明確ではない	3	・魅力的な地域づくり、イベント企画が必要	3	・現状の「福祉」から「将来（子ども）」への投資へ	1
・地域のブランド化	2	・行政と市民が同じ立場で解り合うことが必要	3	・小学校区、中学校区を中心に地域活動をすればいい	3	・各地域の「考え」を地域の「特性」にする	1
・雲南市は立地規模条件がいいのでは？	2	・地域組織の民主的運営をどう担保するかが問題	2	・実際の事例を示し、実現可能性を示す事が必要	2	・「安全・安心ネットワーク」を皆に親しまれるネーミングに変更する	1
・「市長」はどんな人？	1	・活動するための補助金が必要	2	・地域の横のつながりが必要	2	・市議会の役割の見直しを図る	1
・いい事は言っているが実際にはついていけない	1	・地域行事が多すぎる	2	・円卓会議の実施	2	・「公」に務めている人を地域に集め「力」にする	1
・児童クラブの組織づくりが必要	1	・コミュニケーションのとりやすい小さい単位で組織を作るべき	2	・市民が共助精神を持つ	2	・行政、市民、議会の責任を明確にする	1
・婚活による少子・高齢化対策	1	・地域住民への情報伝達の徹底が出来ていない	2	・慣例に囚われない地域システムをつくる	2	・行政だけでは解決不可能な多種多様な課題がある事を市民に理解してもら	1
・マンション住民の意識改革のヒントがほしい	1	・行政の縦割りが問題	2	・仕組みづくりの導入部分での行政の関与が必要	1	・課題解決のプロセスを明確にする	1
・今後もうまくいけばいいと思う	1	・地域組織（町内会、子供会）に入っていない世帯が増えている	2	・資金面で行政のサポートが必要	1	・地域円卓会議の仕組みづくり	1
・地域格差をどう管理しているのか	1	・地域組織の法人化が必要かも	1	・学区などの1地域1課題解決に取り組むべき	1	・行政職員の協働に対する役割、姿勢を明確にする	1
・「平田学区」が協働の参考になればいい	1	・各地域団体活動を評価する仕組みがない	1	・地域の窓口には地域をよく知った民間人を雇用すべき	1	・「どんなまちにするのか」を謳う	1
・地域と行政の橋渡しは誰が？	1	・リーダーシップをとれる人が必要	1	・町内会とNPOのつながりをより強くする	1		
・現状で地域は楽しんでいるのか？	1	・民間との有機的な連携が必要	1	・公民館を特定指定管理にする	1		
		・行政のサポートが必要	1	・エリア毎に歴史、文化、自然を発信する	1		
		・NPO等の活動における報酬への理解不足	1	・市民協働条例を最高規範とする	1		
		・公民館の数に問題がある（雲南市4万人で30館、岡山市70万人で37館）	1	・個性を肯定する	1		
		・男性の料理教室が人気上昇中	1	・協働条例ではなく、自治条例をつくる	1		
		・人口減をまず認める	1	・役職の高い人も勉強する必要がある	1		
		・小学校区が明確でない	1	・行政も市民も学びの場が必要	1		
		・清輝橋の件、環境省に話すが通らない	1	・岡山は日本一危険な所という意識をもつ	1		
		・親が学区を決めている	1	・どの地域でも、誰でも地域の課題解決ができる仕組みづくりが必要	1		
		・一つの課題がすべてに関わっている事を可視化したい	1	・仕組みが出来たら行動に起こす	1		
		・イベントとしてでなく、課題解決活動にしていけるのか？	1				
		・時代と共に地域活動の活発でなくなってきている	1				
		・食育を通して地域の子育て、子と親世代への教育が必要	1				
		・区を越えての支援が必要	1				
		・個人情報保護法が壁になる	1				
		・日々の生活において課題が見えにくい	1				
		・総合計画を時間をかけて議論すべき	1				
		・制度の持続性が必要	1				
		・市OBを活用する	1				